

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

計画の名称	34 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出（防災・安全）（Ⅲ期）												
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）												
交付対象	米子市												
計画の目標	本市は、まちなかを「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の空間へと転換させることを目指しており、その一端として整備した米子駅南北自由通路及び駅南広場整備の事業効果を最大限波及させるため、既存の駅北広場の歩行空間の拡大、交通ロータリーの再配置などを行い、交通結節点の強化による利便性の向上を図るとともに、歩いて楽しいまちづくりを推進していることから、高齢者や障がい者など歩行者に配慮したユニバーサルデザイン化（視覚障がい者誘導用ブロック、段差解消など）を行い、誰もが安全・安心に利用できる歩行空間の創出を図り、駅北広場の歩行者等通行量を増加させる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	480	A	480	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和8年	中間目標値	最終目標値 令和12年
1	1日あたりの駅北広場の歩行者等通行量を2,981人から3,279人に増加させる。 1日あたり（10時～17時）の駅北広場の歩行者等通行量を計測する。（歩行者等通行量=歩行者通行量+自転車通行量） 最終目標値3,279人=2,981人+298人（駅北広場の供用開始に伴い増加する通行量:2,981人×10%）（10%:駅北広場の供用開始に伴い増加する通行量の割合）	2981人	人	3289人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
1日あたり（10時～17時）の駅北広場の歩行者等通行量:現況値2,621人（R3年度実績値より推計）+360人（自由通路の供用開始に伴い駅北広場で増加する推定通行量）												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		R08	R09	R10	R11	R12													
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅境線（駅北広場）	駅北広場整備 A=0.9ha	米子市	■	■				480		—
											小計						480		
											合計						480		

